

広げよう

第2号 (2002. 3)

# コミュニティの輪

彩の国コミュニティ協議会会報



主な内容

P2・3 平成13年度顕彰事業

- ・八潮市が内閣官房長官賞を受賞 一ふるさとづくり賞一
- ・東松山市下唐子自治会が農林水産大臣賞を受賞 一花いっぱいコンクール一
- ・シラコバト賞

彩の国グラウンドワーク推進事業

P4

地域ぐるみで子どもたちを育てる活動

～千葉県市川市のコミュニティスクール～

平成14年度事業予定表

会員募集のお知らせ

## 平成13年度顕彰事業

### 「八潮市」が内閣官房長官賞を受賞 - ふるさとづくり賞 -

ふるさとづくり賞は、斬新な発想による個性豊かで、活力のあるふるさとづくりに取り組んでいる、優れた集団、市町村、企業に贈られる表彰です。

平成13年度は、県審査会で優秀賞に輝いた5団体を中央審査会に推薦したところ、「八潮市」が栄えある内閣官房長官賞を受賞しました。また、「特定非営利活動法人ふじみの国際交流センター」は、ふるさとづくり振興奨励賞を受賞しました。

それぞれの活動について紹介します。

土屋知事から多田八潮市長への表彰状贈呈▶



#### 受賞団体の紹介

##### ●「八潮市」

平成6年にスタートした「生涯学習まちづくり出前講座」は、市民の注文で市職員が指定された場所に向いていく制度です。講座は現在、行政編をはじめ市民編、民間企業編など全部で8部門。200以上のバラエティー豊かなメニューを取り揃え、講師には市職員のほか、市民ボランティアや企業などが登録しています。小・中・高校生が講師となって大人や子どもにバルーンアートや和太鼓を教える子ども編も平成12年からスタートし、好評を博しています。

八潮市は、全国的に浸透してきた出前講座発祥の地として、行政・市民・企業が互いに学び、知恵を出し合う市民参加の地域づくりが高く評価され今回の受賞となりました。

##### ●特定非営利活動法人 ふじみの国際交流センター（上福岡市）

ふじみの国際交流センターは、外国人と日本人の共生のまちづくりと在日外国人の自立支援を目的に、平成9年に創設されました。センターには毎日、時間を問わず、いろいろな国の人を訪れ、活発な交流があります。現在取り組んでいる事業は、9か国語による生活情報誌「インフォメーションふじみの」の発行をはじめ、年間300件以上ある悩み事・生活相談、日本語教室の開催、周辺の市町村が開催する国際交流フォーラムへのスタッフ派遣など18種類。年間の利用者は1,000人を超え、地域の外国人が家庭のようにホッとできる空間になっています。

また、スタッフにとっても、いろいろな話を聞いたり、価値観の多様性に気づかされたりと、様々な喜びがあるそうです。

ふじみの国際交流センターは、身近な地域で、外国人にとって本当に必要なサポートを続けていることが高く評価され、今回の受賞となりました。

### 東松山市下唐子自治会が農林水産大臣賞を受賞 - 花いっぱいコンクール -

花いっぱいコンクールは、花や緑を育てることを通じて、ふれあいと思いやりのある美しい地域社会づくりに取り組んでいる学校や職場、地域の団体に贈られる表彰です。

平成13年度は、県審査会で最優秀賞に輝いた「川里町立屈巢小学校」（学校の部）と「東松山市下唐子自治会」（職場・地域の部）の2団体を中央審査会に推薦したところ、東松山市下唐子自治会が農林水産大臣賞を受賞しました。

それぞれの活動について紹介します。

#### 受賞学校(団体)の紹介

##### ●川里町立屈巢小学校（川里町）

屈巢小学校の学級花壇は、植える花の種類や色、植え込みのデザインまでクラスごとに児童が話し合い、決めているので、それぞれがとても個性的です。また、全校で一人一鉢栽培に取り組んでいるほか、通学路と

なっている町道に隣接した花壇を管理して地域の方々にも喜ばれています。

同校では花の栽培指導者として地域の方を積極的に招いており、PTAや地域と一体となって花いっぱい運動を進めています。

##### ●東松山市下唐子自治会（東松山市）

下唐子の交通量の多い交差点脇の花壇には、葉ボタンやパンジー、マリーゴールドなど8種類の花々で、四季を通じて市章がアレンジされ、空き缶や空きビンの投げ捨て防止にもなっています。また、地区内の花壇にも色とりどりの花が咲き、地域の環境美化につながっています。

全世帯が花いっぱい運動に参加しているため、花の植え込みや水やり、草取りなどの作業を通して、日ごろから住民同士のコミュニケーションが進み、自治会の運営も円滑に行われています。

## シラコバト賞

33回目を迎えた今年度も、270件と多くの推薦があり、その中から個人134名、団体66団体の方々に贈呈されました。

この賞は、日ごろ、身近なところで、住みよい地域社会にするための様々な活動を続けている方々に贈られる表彰です。

どの活動も、一見地味で、目立たないものかもしれませんが、こうした活動を長年続けていくことは、と

ても大変なことです。

「郷土を知り、郷土を想う活動」では、50年以上もの長きにわたって、地元郷土芸能のお囃子の伝承と保存のために、子ども達への指導などの活動を続けている方もいました。

このように、皆さんの周りにも、地域活動を続けている方がいましたら、ぜひ、シラコバト賞にご推薦ください。自己推薦を除いて、どなたでも推薦できます。

## 彩の国グラウンドワーク推進事業

「グラウンドワーク」を御存知ですか。

グラウンドワークは住民、企業、行政が連携して取り組む、地域での環境改善運動です。内容は公園づくりや、稀少生物の保護、里山づくりなどさまざま。住民にとっては地域への愛着を深めるきっかけとなり、企業も社会貢献やイメージアップにつながります。また、行政としても、支出額の数倍、時には数十倍の成果を得ることができる手法です。

彩の国コミュニティ協議会では、グラウンドワークを通じたコミュニティづくりを進めるために、県内の12箇所をモデル地区に指定しています。

今回は、平成13年度に指定した2つのモデル地区を訪問しました。

### ●よしか八幡里山づくり（熊谷市吉岡地区）



▲竹を切るメンバー

吉岡地区は、荒川沿岸の水田地帯と比企丘陵のちょうど境目に位置し、豊かな自然環境に恵まれています。熊谷市立吉岡中学校を囲み、八幡神社へ続く雑木林は、人の手が入らないため繁殖力の強いモウソウダケに覆われ、昼でも暗い竹藪になりつつあります。

かつての美しく明るい里山を取り戻したいという地域の思いが、吉岡グラウンドワーク実行委員会の発足につながりました。

里山の自然を生かした多彩な活動が特徴で、古いドラム缶を利用した手作りの炭焼き窯で、竹炭焼きをしています。また、これからは、間伐材を利用した椎茸の原木づくりや、タケノコ堀りなど、楽しい活動に取り組んでいく予定です。

実行委員会では、ゆくゆくは活動を周辺の民有地にも広げ、中学生の体験学習の場や、地域のふれあいの場となる里山にしたいと将来像を描いています。

### ●カタクリとしだれ桜の山里づくり（神泉村林・小倉地区）



▲遊歩道づくり

カタクリはユリ科の植物で、早春の雑木林に可憐な紅紫色の花を咲かせます。片栗粉は知っていても、実際にカタクリの花を見た方は少ないのではないのでしょうか。

林・小倉地区は遠くに群馬県の山々を望む緩斜面に位置する、静かな集落です。地区の背後にあり、飯盛山に連なる雑木林を、実行委員会をはじめ、地区の人全員で里山として整備しています。雑木林の下草刈りの時、カタクリの群落が発見されたので、遊歩道の整備や樹木の間伐を行い、これを守り育てています。委員長の小島さんは、しだれ桜やあじさいなど、たくさんのお花を植えて、美しい山里にしていきたいと抱負を語っておられました。

# 地域ぐるみで子どもたちを育てる活動

～千葉県市川市のコミュニティスクール～

「おいしい豆腐を造ってみよう」。先生である地域のお豆腐屋さんの鮮やかな手つきを間近で見て、さあ、子どもたちも挑戦です。「どうしたら、おいしい豆腐が作れるの?」などの質問にも、先生はわかりやすく、丁寧に教えてくれます。

市川市では、地域の人を先生として学校に招いて、家庭・地域・学校が一体となって子どもたちを育てています。

このコミュニティスクール事業は、昭和55年に小学校5校をモデル校としてスタートし、現在では、市内全小・中・養護学校で実施されています。実施主体も、住民の意欲を大切にしていけるように、行政からコミュニティスクール推進委員会に移行しました。

地域の人が話す戦争体験を聞く会や、地区の土地を借りて、教わりながら作物を作る農園活動、特別養護老人ホームの訪問など、地域の人たちの力を学習に取り入れる様々な活動を展開しています。

また、学校が中心となって子どもたちを育てるコミュニティスクール事業のほかに、学校の放課後や土曜、日曜日に、地域が中心となって子どもたちを育てる活動、ナーチャリングコミュニティ事業も、平成9年度から開始されました。

この事業は、市内すべての子どもたちが対象で、市民ボランティアが中心となって、サッカーや工作教室、キャンプなどの様々な活動を企画しています。普段なかなか接することのない、小・中学生と一緒に活動したり、隣の学校の子どもたちと接することができるこ

とも魅力の一つです。また、子どもたちの声を反映できるように、意見交換会なども開催しています。

活動によって子どもたちが、地域の中で、いつも誰かが見ていてくれる、大人の視線を背中に感じるようになっていく。青少年の非行防止が社会問題となっていますが、こうした活動を地道に続けていくことが、大切なことかもしれません。

## コミュニティスクールとナーチャリングコミュニティ

	コミュニティスクール	ナーチャリングコミュニティ
基本理念	学校が主体となり、教育課程内で、家庭・地域・学校が一体となって、子どもたちを育てる。	地域が主体となり、放課後や土曜、日曜日に「遊び」を通して子どもたちを育てる。
対象	各学校の児童・生徒	市内すべての子どもたち
開始時期	昭和55年	平成9年
組織	コミュニティスクール委員会 ・ 学校長等学校関係者 ・ PTA代表 ・ 自治会関係者 ・ 民生児童委員 ・ 青少年相談員 ・ 子ども会関係者 等	ナーチャリングコミュニティ実行委員会 ・ 市内中学校区(16ブロック)のボランティア
契約形態	委託契約 (市長とコミュニティスクール委員長)	委託契約 (市長とナーチャリングコミュニティ実行委員長)

### 平成14年度 事業予定表

4月

「ふるさとづくり賞」募集開始

5月

理事会  
「シラコバト賞」募集開始

6月

定期総会  
生活学校連絡協議会定期総会・運動研究集会  
「全国花いっぱいコンクール」募集開始  
地域協議会・市町村協議会助成金交付申請書期限 会費納入

9月

全国生活学校連絡協議会関東甲信越静ブロック協議会(さいたま市)企画委員会

11月

「県民の日」記念事業  
・ シラコバト賞・ふるさとづくり賞・花いっぱいコンクールの贈呈  
・ 記念フリー乗車券発売  
・ 彩の国めぐりスタンプラリー

3月

企画委員会  
会報発行

### 会員募集のお知らせ

彩の国コミュニティ協議会は、「豊かな彩の国づくり」を目指し、住民・企業・行政が一体となって、知恵と力を出し合い、住みよい地域社会づくりを進めるため、様々な取組を展開しています。こうした取組は、会員の皆さんの協力によって成り立っています。今後、コミュニティ活動をさらに活発にするため、協力していただける新規会員を募集しています。

編集・発行

### 彩の国コミュニティ協議会 埼玉県県民生活課内

〒336-8501 さいたま市高砂3-15-1  
TEL048-830-2819  
FAX048-830-4750

ホームページ <http://www.pref.saitama.jp/A01/BQ00/community/com.htm>